

令和3年度

# 事業実績報告書

社会福祉法人寿楽園

# 令和3年度

## 総括

### ～法人長期施設整備計画の推進～

法人の長期施設整備計画である横浜第2期施設整備計画について、「特別養護老人ホーム新設」基本計画立案に向け、市内特養整備実績のある設計業者と基本計画業務委託契約締結し、設計協議を重ねた。同時に、敷地内の土砂災害特別警戒区域解除に向けた防災工事計画に着手した。そして佐賀再生事業について、養護老人ホーム寿楽園と老人保健施設・ケアハウスあおぞらの大規模修繕（2か年）を開始した。また、福岡事業所では、通所介護事業を廃止し、地域ニーズの高い生活介護事業に転換するべく準備を加速した。引き続き利用者の生活環境を改善し、選ばれる施設づくりに邁進する。

### ～介護サービスの生産性向上・リスクマネジメント（内部管理体制）の強化～

新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言期間が長期に続き、利用者や職員のワクチン接種をはじめ感染症拡大防止対策を強化した。感染症及び災害時のBCP策定を行い、緊急時におけるリスクマネジメント体制を見直した。そして報酬改定に伴う月次点検の見直し、WEB会議システムによる管理・監督職研修を強化した。また利用者のQOL（生活の質）及び介護サービスの生産性の向上、効率的なサービス提供のため、補助金を活用し、新しい介護情報管理システムの導入やテクノロジーの活用を図った。

### ～魅力ある職場創り～

時代を見据えた人材確保・定着戦略のため「魅力的な職場づくり」を推進した。国内外の外国人材の確保ルート開発とともに、単なる人員不足の補填策ではなく、将来の外国人材の指導者、法人の一翼を担う人財としての育成に努めた。そして責務・権限、仕事の出来高（能力）に見合う適正な待遇を推進するため、キャリアパス（能力評価）の査定の標準化を図った。また職員が仕事と生活のバランスを取れる多様な働き方を推進するため、年次有給休暇やリフレッシュ休暇の取得推進し、法改正に伴う育児・介護休業等に関する規則を見直した。